

科目コード	2694697	授業概要 【授業内容】 科学技術分野では英語が国際的な情報へアクセスする重要な手段であり、専門英語の基礎理解は視野を広げる上で欠かせない。一方で、英語は世界に数多く存在する言語の一つに過ぎない。本授業では「正しさよりも内容を伝える力」を重視し、CLIL（内容言語統合型学習）の考え方を取り入れ、生活に身近な科学をやすく英語で学ぶ。具体的には、英文記事や動画等を用いて、SDGsや環境問題に関する概念を英語で理解し、自分の言葉で説明する力を養う。科学を英語で読む・聞く・書く・話すための土台を築き、科学リテラシーと英語運用力を育成する。 【到達目標】 身近な科学現象に関する基礎的な概念を理解し、関連する科学英語を用いて内容を簡潔に説明できる。また、短い英語資料から科学的情報を読み取り、英語でディスカッションできるようになる。さらに、SDGs関連課題や改善点などについて、作文でできるようになる。英語を学習するために、4技能について理解し、自分に合う学習法をデザインすることができる。 【授業テーマ】 第1回 Introduction・科学英語とは何か 第2回 身近な科学①：pH・酸と塩基を英語で説明する 第3回 身近な科学②：環境問題とSDGsの基礎語彙 第4回 資料を読み取る力：短い英文記事・動画を使った理解 第5回 身近な科学③：食品科学・水質・エネルギー 第6回 科学的説明の仕方・作文練習 第7回 SDGsミニ発表（Oral presentation） 第8回 授業のまとめ 【学生へのメッセージ】 科学と英語の両方に興味のある方に最適な授業です。 英語が得意でない方や学び直したい方でも安心して参加できます。 自宅で取り組める学習方法も紹介しますので、無理なく科学英語の世界を広げていきましょう。 【受講前の準備学習等】 身近な科学に興味のある話題の一つを選び、日本語の記事を軽く読んでおくとう授業が理解しやすくなります。 初回に簡単な英語の自己紹介を行うため、3～5文程度、準備しておくとう安心です。 また、シラバスの内容から判断して適宜準備していただければ幸いです。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 英英辞書/英和辞書、ノート、筆記用具（やる気！/笑） 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 英語を第二母国語として学習してきた経歴を紹介します。 また、マレーシアをはじめ、普段英語を使っている国の文化なども紹介します。
学習センター	岐阜学習センター	
学習センターコード	21A	
クラスコード	K	
科目名	科学英語	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	20名	
担当講師	リム リーフ Lee Wah LIM 岐阜大学教授・副学長	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 講義・レポート 15:55～16:40	
実施会場	岐阜学習センター	